

# 平成27年第2回三重県議会定例会 健康福祉病院常任委員会

## 説明資料

頁

### 【所管事項説明】

- |                             |   |
|-----------------------------|---|
| 1 三重県病院事業 次期中期経営計画の策定について   | 1 |
| 2 こころの医療センター及び一志病院の取組状況について | 2 |

平成27年12月11日

病院事業庁



# 1 三重県病院事業 次期中期経営計画の策定について

## (1) 中期経営計画の策定趣旨

病院事業庁では、県立病院に求められている役割・機能等を十分に踏まえつつ、国、県の医療政策の動向や県立病院を取り巻く環境の変化に的確に対応しながら、病院事業の経営を中期的な観点から計画的に推進し、それぞれの県立病院が県民の皆さんに医療サービスを安定的かつ継続的に提供していくため、中期経営計画を策定しているところです。

こうした中で、現行の「三重県病院事業中期経営計画（平成25年度～平成27年度）」の計画期間が平成27年度末で終了することから、次期中期経営計画を策定する必要があります。

## (2) 次期中期経営計画の策定時期

次期中期経営計画の策定にあたっては、「地域医療構想」及び一志病院の方に関する検討結果を踏まえる必要があります。しかしながら、地域医療構想等は平成27年度中に決定される予定であり、現状では、これらを踏まえた次期中期経営計画の策定が困難であるため、現計画の期間を1年間延長し、平成28年度に策定することとします。

このため、平成28年度は、現計画に記載した取組をさらに進めていくこととし、現計画を踏まえた年度計画を作成したうえで、病院運営を行っていきます。

## (3) 今後の予定

- 平成28年 2月 常任委員会にて、平成28年度年度計画（案）を説明
- 平成28年12月 常任委員会にて、次期中期経営計画（中間案）を説明
- 平成29年 3月 常任委員会にて、次期中期経営計画（最終案）を説明

## 2 こころの医療センター及び一志病院の取組状況について

こころの医療センター及び一志病院における、平成27年10月までの主な取組と病院事業中期経営計画の平成27年度計画における主要な目標の進捗状況については、次のとおりです。

### (1) こころの医療センターの取組状況

こころの医療センターについては、地域生活支援の一層の充実に向けた取組を進めるとともに、精神科救急患者の受入れや認知症治療、アルコール依存症治療、若者に対する早期介入・早期支援などの政策的医療及び先進的医療等に取り組んでいます。

#### ① 病院機能の再編・推進

地域生活支援の一層の充実に向け、病院機能の再編・推進を進めてきており、アウトリーチサービスとしての訪問看護について積極的に取り組んでいます。

また、作業療法、デイケアといった日中活動支援の一層の充実を図るため、デイケアのプログラムを見直すとともに、効率的・効果的なデイケアを実施するための施設改修（H27年度は設計業務）に取り組んでいます。

目標項目	H26 実績	H27.4~10 実績	H27 目標
訪問看護件数（件）	4, 537	2, 759	5, 350

#### ② 精神科救急・急性期医療の推進

三重県精神科救急医療システムの支援病院として、休日・時間外などの救急患者の受入れに対応するとともに、自傷・他害のおそれがある場合に実施する措置鑑定診察についての要請に対しては、100%の受入れを行っています（平成27年10月までの実績33件）。

目標項目	H26 実績	H27.4~10 実績	H27 目標
精神科救急患者数（人）	212	135	230

### ③ 地域生活への移行支援のための体制整備

病院、市町、相談支援事業所、障がい福祉サービス事業所などの関係機関と連携体制を確保し、長期入院患者の社会復帰を促進しています。

目標項目	H26 実績	H27. 4～10 実績	H27 目標
長期入院患者（5年超）退院数 (件)	4	6	6

### ④ 高度・先進医療の推進

#### ア 精神科早期介入・予防

教育機関等と緊密に連携し、精神科における「早期発見・早期支援・早期治療」の拠点として「ユース・メンタルサポートセンターMIE (YMSC-MIE)」を運営し、相談窓口の設置や多職種の連携により精神疾患の症状に悩む若者の支援を行っています。さらに、教育・保健・医療・行政等の関係者を対象に、若者の自殺対策、自殺予防教育の推進を目的とした研修「若者のメンタルヘルスの理解」（8月19日）や「生きにくさを抱える若者たちの支援」（10月30日）を開催しました。

目標項目	H26 実績	H27. 4～10 実績	H27 目標
早期介入対応件数（件）	213	120	200

#### イ アルコール依存症治療

専門的な研修を履修したスタッフによる、充実したアルコール依存症治療プログラムを提供するとともに、アルコール外来患者の医療ニーズに対応するため、アルコール専門のデイケアを実施しています。

また、一般病院で治療を受けているアルコール依存症患者が、当該病院から紹介を受け、当院の専門的な依存症治療を受けられるよう、一般病院との連携に取り組んでいます。

目標項目	H26 実績	H27. 4～10 実績	H27 目標
アルコール病棟入院患者数（人／日）	32.2	26.2	37.0

## ウ 認知症治療

もの忘れ外来や認知症治療病棟の運営を通じて、認知症に対する専門的医療を提供しています。また、「認知症疾患医療センター」として、家族等からの相談に対応するとともに、講演会の開催（「認知症臨床と望まれる連携」（7月2日））など普及啓発に取り組んでいます。

目標項目	H26 実績	H27. 4～10 実績	H27 目標
認知症治療病棟入院患者数（人／日）	38.8	37.2	40.0

## エ 重度療養患者に対する治療

統合失調症において、標準的な精神科医療を提供しているにもかかわらず治療の効果が現れにくい患者（重度療養患者）に対して専門的な治療（治療抵抗性統合失調症治療薬の投与）を提供するにあたり、血液内科医と連携ができるよう大学附属病院と「医療連携及び緊急時の患者搬送措置に関する覚書」を締結するなど安全な医療体制を構築し、本年6月から治療を開始（平成27年10月までの実績3名）しました。

目標項目	H26 実績	H27. 4～10 実績	H27 目標
重度療養患者医療体制構築	構築	実施	実施

## （2）一志病院の取組状況

一志病院については、家庭医療の実践を通して予防医療や在宅医療など地域ニーズの高い医療を提供するとともに、地域に最適な包括的で全人的な医療体制づくりに必要な保健、医療、福祉などの多職種の関係者の連携を推進する取組を進めています。

### ① 地域に最適な包括的で全人的な医療の体制づくり

地域に最適な包括的で全人的な医療体制づくりを多職種で進めていくため、次の取組を行いました。

（ア）多職種による連携を深めていくため、津市保健センター、一志病院、津市社会福祉協議会、津一志地域包括支援センターで構成する「白山・美杉地域ケア会議」を開催（4月20日、7月13日、10月19日）

（イ）地域住民及び保健・医療・福祉関係者を対象とした、在宅ケアをテーマとするシンポジウム「白山・美杉 在宅ケア 第2回みんなで考える集い」を多職種の連携・参画により開催（8月9日）

(ウ) 医療従事者を対象とした、地域包括ケアをテーマとする研修「病院が取り組む地域包括ケア研究会 IN 三重」を開催（6月26日）

目標項目	H26 実績	H27.4~10 実績	H27 目標
地域に最適な医療の体制づくり 参加機関数（者）	14	14	15

## ② 家庭医を中心とした地域医療の取組

### ア 家庭医療

三重大学の協力を得ながら家庭医の診療体制を充実することにより、治療だけでなく、予防医療やリハビリテーション、健康相談などを含む全人的な医療サービスを安定的に提供しています。

また、地域内の診療所が平成26年5月に閉院したことに伴い、本年5月に津市からの要請を受け、当該地域への医師派遣（週1回）を行っています。

さらに、県内のへき地診療所への代診医派遣や無医地区への巡回診療等の支援を行う「へき地医療拠点病院」として、代診医の派遣（2回）を行いました。

目標項目	H26 実績	H27.4~10 実績	H27 目標
家庭医療等外来患者数（人／日） (予防医療受診者等を含む。)	104.7	100.2	113.0

### イ 在宅療養支援

多職種連携の取組で築いた顔の見える関係を生かし、地域の診療所や介護施設、保健師やケアマネージャー等と連携し、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅療養支援に取り組んでいます。

目標項目	H26 実績	H27.4~10 実績	H27 目標
訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等延べ患者数（人）	3,424	2,108	3,270

### ウ 救急医療

初期救急医療を担う医療機関として、24時間365日対応できる体制を維持するとともに、救急患者への初期対応を的確かつ円滑に実施できるよう、救急救命士と病院職員との合同訓練を実施するなど消防機関との連携強化を図っています。

目標項目	H26 実績	H27. 4~10 実績	H27 目標
救急患者受入件数（人） (救急車搬送患者を含む。)	1, 182	728	1, 000

### ③ 医療を担う人材の教育

#### ア 家庭医の育成

家庭医（総合診療医）育成拠点施設として、三重大学と連携し初期研修医（6名）や医学生（31名）を積極的に受入れ、一志病院をフィールドにした実践的な研修を行っています。

目標項目	H26 実績	H27. 4~10 実績	H27 目標
初期研修医・医学生受入人数（人）	44	37	49

#### イ 看護師等の育成

地域看護の実践を通じて職員一人ひとりの意識・知識の一層の向上を図るとともに、看護師等の養成機関と連携して実習生の受入れを行っています。

また、公立大学法人三重県立看護大学と臨床能力に優れた質の高い看護職者の教育・育成等について連携協力を図るための協定を提携（11月27日）しました。

さらに、地域看護に関心をもつ看護師、看護学生を対象とした研修「プライマリケアエキスパートナース in みえ 2015」を開催（8月9日）しました。

目標項目	H26 実績	H27. 4~10 実績	H27 目標
看護実習等受入率（%）	100.0	100.0	100.0